

第1回大町市ケーブルテレビ放送番組審議会 議事録（要旨）

開催日時	平成28年3月30日（水） 午後3時30分から
開催場所	大町市総合情報センター テレビ会議室
出席者	
審議会委員	伊藤彰一、降旗和幸、川上 洋、北澤米子、平林 操
事務局	大厩市郎、藤巻孝之、大日方寿二

（委員からの意見等）

- 多チャンネルの視聴数とは？
- 加入率は3割といったが、親しみを感じている。加入者の拡大をしたいと思っているが、手続きや費用については
- ケーブルテレビは楽しいということを説明したいが、加入していないと観られないため、良さが伝わらない。議会の傍聴に来なくても家で見るができる。
- 議会の傍聴席では耳が遠いと声が聞き取りにくいので、テレビを見た方がよくわかる。

（事務局から）

- 多チャンネルの視聴はCSチャンネルのみである。
- 標準的な初期費用負担（工事費）は3万5千円、定住促進の助成が4万円を限度にある。八坂・美麻の工事費は、2万2千円ほどになる
- 現在は、市役所ホールと総合情報センターで放送を流している。
- イベント時にPRブースを設けて放送を流している。常時見られるところをやっていかないと。以前は広報に番組表が入っていたが、広報にいれるなど工夫してはどうか。議会など盛り上がったときには見ごたえがある。鮮明に見られるので。
- 駅前で自主放送が常時見られる場所を検討している。取組みを考えたい。
- 避難場所では見ることができる。集まった時に観てもらえる。移り住まわれた人なら引込工事費はほとんど補助金で賄える。
- 市議会の傍聴は、演台で発言すればよく聞こえるが、自席で答弁すると聞こえづらいところがある。議会とよく相談してみたい。
- 番組にこんなものがあつたら魅力が増すのではないかというようなご意見があれば、後ほどでもお出しいただきたい。

審議事項

番組の視聴と感想等

（委員からの意見等）

- きらりステーションは1週間に1回は必ず見ることにしている。新しい話題が取り上げられていてありがたい。加入者増の取り組みで紹介者にお金をあげるとか使用料を割引するなどメリットがあるようにすれば、どうか。ホームページの番組表の会場が誤っていた。
- 番組制作のアウトソーシングを始めたが、その状況は。取材は委託会社で編集が市でやっ

ているのか。

- 取材をよくしている。話題の人を取り上げているし、シリーズとして歴史探訪は、しっかりしていて安心して見られた。
- 当初から加入していたのに、あまり見ていなかったのが残念に感じている。親しみやすい、うれしい話題「おおきくなったら」が身近に感じられてよかった。アナウンサーが上手である。これからも大町市の知らないことが多いので、テレビを通じて知らせてもらえたらよい。
- 気になっていたBGMを以前改善してもらえよう意見を言った。今日の視聴では研究して努力してもらえていると感じた。最近の話題と歴史的なものを一つの物語としていっしょに取り組んでいるのはよい。地域の情報をどう吸収して映像化に結び付けているかを聞きたい。
- カメラで写してもらうときには、やっている人をすうっと流して写すより、ひとりひとり映像で確認できるような時間をもって撮影してもらえると映っていた人や知り合いも確認できてよいと思うが。工夫ができればお願いしたい。
- 取材の依頼があった場合の取材の対応は。受けられる場合と受けられない場合があると思うがその場合はどう調整しているか。
- 「あのときあの頃」が懐かしく感じているが時期がわかれば、ありがたい。
- 加入の勧誘をした者に謝礼を渡すことは、ない方がよいと思う。私は、加入してもらって楽しんでもらえばいいものであると思う。あまり熱心にやって謝礼をもらえるとなると他人からみるとどうか。
- 謝礼などの方法は検討してもらおうとして、何とか加入率を上げる取組みとしてご褒美をあげる案はどうか、ということで一例として発言したものであり、こだわるものではない。
- 加入促進のための費用は若干あっても良い。コマーシャルをやらないと増えない。口コミが一番加入者を増やしやすい。見せびらかすほどの宣伝があつていいと思う。わずかなお礼があつてもいい。
- WOWOWは無料で一定期間視聴できるが、ケーブルテレビは接続していないとそういうことができない。
- 数年前よりカメラマンが上手になったと感じる。
- 入院していた時にやまびこまつりなどライブ中継があつてよかった。
- 議会の休憩中は文字放送に替わるが、何分から始まるかわからない。一般質問について、次は誰が質問をして、何分から始まるか、休憩中であることがわかるような表示があればよい。休憩中にテレビをつけた人は議会中継をやっているのかわからない。何をやっているか分かったほうがよい。
- 静止画でも仕方がないと思う。テレビをつけた時に文字放送では議会中継なのかわからない。
- 休憩中に空の議場の風景をながしておくのも良いのでは。
- 全戸にケーブルだけつなげておけば、無料体験が可能になるので、先行投資をしてみてもどうか（段階的にでも）。費用がかかるが未加入者が入りたければ工事なしで入れるので。
- テレビ東京の再送信はむずかしいか。割合いい番組が流れている。

(事務局から)

- 番組制作は、委託会社での取材がすべてではない。
- 地区の情報は、学校の行事は年間の行事日程を参考に計画を立てている。直接依頼があるものもある。公民館からの行事は問い合わせたり、公民館の広報などを確認したりして取材をしている。
- 取材の選択は時期がずれないように、優先順位をつけて取材をしている。取材にいけない場合の苦情等もある。取材にいけない場合がある旨を伝えている。取材の依頼を受けた際に了承してもらっている。同じ学校や団体に偏らないようにしている。
- 「あの時あの頃」は、広報からもらった画像を流しているが、時期がわかるものと分からないものがある。
- 昨年、委託したもので直後にカメラマンのレベルで厳しい指摘もあった。他局で研修の機会を設けて向上を図っている。ご覧いただいたうえで厳しい指摘もいただければ。
- 選挙開票は市議選で力を入れて放送した。消防出初式を生中継した。高校の卒業式は実現しなかった。生中継は一番の魅力だとの意見をいただいている。生中継は人手がいるので、難しいがなるべく増やしたい。
- 休憩中は同じ映像が流れても違和感がないか
- 庁舎の外観の静止画でテロップをながす方法など技術的には可能である。今回の3月議会では議会中継のライブ中継は集中したため、ネットが止まったしまった。6月定例会にできるか相談したい。
- アンテナで視聴しているお宅は、ケーブルテレビに切り替えが必要なので期間限定の視聴は難しい。開局時の目標として加入世帯数4千件というものがあつた。収支的には2千5百件があれば、赤字にならずによい。
- テレビ東京の再送信同意はむずかしいとの話である。全国的に多くの局から希望がある。民放は番組を買い取って流しているの、ケーブルテレビで流すと民放の番組を見なくなる懸念もあるようである。引き続き、交渉していきたい。